

請 願 文 書 表

(環境政策局)

受 理 番 号	1 1 3 5	受 理 年 月 日	令 和 4 年 9 月 2 8 日
件 名	北陸新幹線延伸に関するボーリング調査結果の公表		
要 旨	<p>北陸新幹線（敦賀・新大阪間）計画に関わって、この間、私たちの住む地域でもボーリング調査が行われた。鉄道運輸機構は、ボーリング調査は各地でアトランダムに行うのではなく計画的に行っていると述べており、新幹線工事が身近な問題になるのではないかと心配でならない。同計画による長大なトンネル建設が大量の掘削土砂、建設汚泥（残土）を発生させることは京都市も認めるどころであり、京都延伸ルートとされる地下にかなりの高濃度のヒ素など重金属が存在することは国交省も憂慮すべきと認識し、京都市も同様の認識をしていることと思う。</p> <p>北陸新幹線京都延伸計画は京都市の事業ではないが、実際に動き出せば京都市民に大きな影響を与えるものである。上記の残土の搬出や投棄に関わっても、また、汚染土が排出される場合も、市民の暮らしや環境には大きな影響が出るのは必至である。実際、北海道新幹線の建設に関わっては、工事が始まってから掘り出された高濃度のヒ素を含む汚染土の処理が大問題になっている。そもそも、自然由来と言っても既に高濃度のヒ素などの重金属が存在している場所での掘削工事などは、事前に明らかになっているのであれば、河川や地域での環境汚染を食い止めるため、計画の変更や中止などの措置を検討すべきである。仮にそれが汚染土でなくても、排出される膨大な量の土砂を搬出する大型トラックが京都の町を走り回ること、豊かな自然環境・生活が脅かされるのは明らかである。</p> <p>私の居住している修学院第二学区では、2010年に鉄道運輸機構によるボーリング調査が一乗寺地藏本公園で行われた。このデータを京都市はまだ取得していないとのことだが、それでいいのだろうか。国交省は2019年以降、環境影響評価等の予算として毎年12～13億円計上している。これには私たちの税金が使われているのだから当然結果は公表されるべきだと考える。計画に賛成、反対に関わりなく、もし計画が進められたらどのようなことになるのか、京都市は住民の環境と暮らしを守る立場からも、まずは調査結果を把握し住民に公表すべきではないか。</p> <p>ついては、京都市が鉄道運輸機構に対し、北陸新幹線京都延伸に関するボーリング調査の結果を提供するよう求めることを願う。</p>		
請 願 者			
紹 介 議 員	やまね智史、井坂 博文、森田ゆみ子、加藤 あい		
付 託 委 員 会	文 化 環 境 委 員 会		